

白石高だより



発行：佐賀県立白石高等学校 佐賀県杵島郡白石町138番地1 電話：0952-84-2131 FAX：0952-71-5008
ホームページ：http://cms.saga-ed.jp/hp/shiroishikoukou

車いすがくれたもの

〜キャリア教育講演会〜

十一月二十六日（水）、本校体育館において
キャリア教育講演会が行われた。

講演会の講師は車いす アスリートとして活動さ
れている副島正純さん。 スリットとなり、アテネ・

北京・ロンドンで開催されたパラリンピックにも
日本代表として出場され
た。「車いすがくれたもの」という演題で語られ
た副島さんの話には、全校
生徒、及び職員は熱心に
聞き入っていた。講演の
要旨は以下の通りである。

1. 半生（怪我をするまで）
22歳の時、実家の鉄工所に就職。23歳の時、仕事
中に怪我をし、車いす生活となる。
2. 車いすスポーツとの出会い
「もう何も出来ない」という思いを忘れさせてくれた
のが車いすスポーツだった。怪我から1年後、車いすマ
ラソンに没頭するように。しかし、生活のため福岡県で
就職した。十分な練習時間を確保できないことにストレ
スを感じ、30歳の時、正社員からパートタイマーにな
る。「周囲に認めてもらうには結果を出す必要がある」
と考え、日本代表を目指し、2004年、アテネパラリ
ンピックで日本代表選手になる。
3. 車いすアスリートとして
目標は世界記録の樹立。まだ納得のいく結果は出せて
いないが、まだ諦めていない。20年前、怪我をした当
時には思わなかった楽しい人生を送っていると思う。

青少年赤十字国際交流事業

▲全校生徒を前に話しをされている副島さん。

十月二十八日（火）、
青少年赤十字国際交流
事業の一環でパキスタ
ンから来日していたサ
ラ・アフザルさんとカ
シール・ムスタファ・
サブガーさんが本校を
訪れ、授業や部活動に
参加した。

二人は十月二十四日
から三十日まで佐賀に
滞在し、高校の授業や
佐賀城本丸歴史館を訪
問し、日本の文化に触
れた。

一、二年生のクラス
で化学や英語、日本史、
家庭科の授業を体験し
た二人。家庭科の授業
では一年生と一緒に調
理実習に取り組んだ。
イスラム教徒でも食べ
ることが出来るハラール
食材を用いて親子どん
ぶりの調理を行った。
部活動は茶道部や剣道
部を見学した。茶道部
では着物に着替えて抹
茶に挑戦し、本校生徒
との交流を楽しんだ。



本校JRC部と記念撮影する
サラさん（右から4人目）と
カシールさん（右から3人目）